

# 教育システム

## 〔１〕LT<sup>2</sup>教育システム

LT<sup>2</sup>教育システムは、「実学教育」を建学の理念にかかげる本校が、卒業後の教育で本当に役立つ人材養成のために見つけた「学習動機付け」と「自立学習」にポイントを置いた本校独自の教育の方法論です。「馬を水のみ場まで無理矢理ひっぱっていくことはできても、馬がその気にならなければ、水を飲ませることはできない」という古い諺があります。人をやる気にさせることの難しさと大切さをいう喩えです。

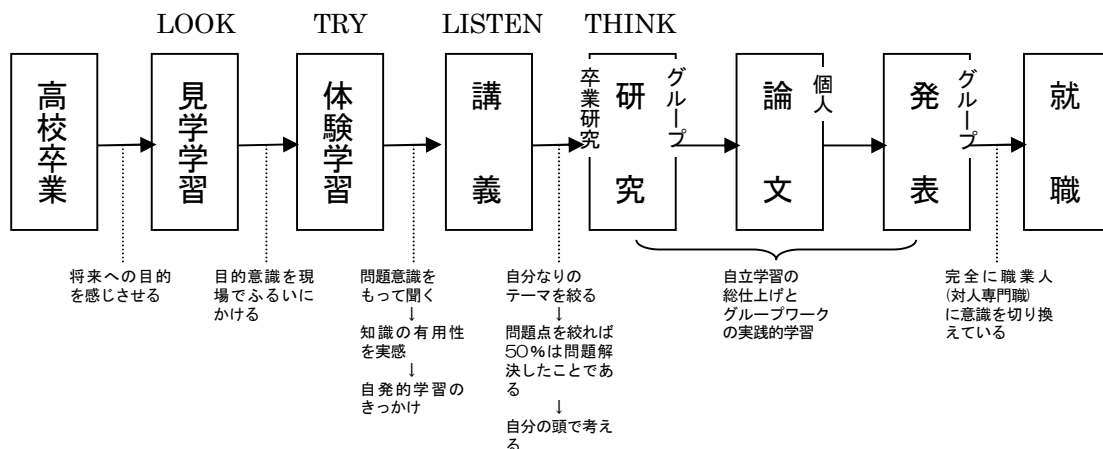
学校で学ぶのも同様です。学生が「やる気」になることが、学習効果を高める秘訣です。そのためには「学習動機付け」が重要です。一人ひとりの学生が意欲的に将来のため「何を学び、何を身につけたいのか」という目的意識を持つことが学習効果を飛躍的に高めるのです。そして「教わる」という受け身の考え方では、「教わっていない」現実と直面したときの「工夫」が生まれません。自分から「学びとる」という積極的で前向きな考え方が、現実のいろいろな問題に対処して、自分なりの解決策を生みだすことができるのです。本当に仕事の現場で役に立つ人間というのは、自分で考え、自分で工夫し、実践できる人間なのです。私たちは、「自立学習」の大切さを決して忘れてはいけません。

自分で課題を見つけ→その解決策を考え→他人と討議し→解決策を決め、実行し→最後にその結果を反省する。そこまでできる力を養うのが、私たちの考える「自立学習」です。

「学習動機付け」と「自立学習」をどのように実現するのか？「体験学習」にポイントを置いた教育システムで、というのが私たちの見つけた答えです。まず、現場を見て、体験することで、「知識」や「技能」は、言葉で知っているだけでなく、身体で記憶するものになります。決して忘れません。その上で、聴き、考えますから、問題にぶつかった時に、自分の頭で考え、実行する力をつけられます。

私たちのLT<sup>2</sup>教育システムは、しっかり目的意識をもって自分で考え、工夫のできる真の職業人（プロ）を生みだすための最短最強のコースであると信じています。

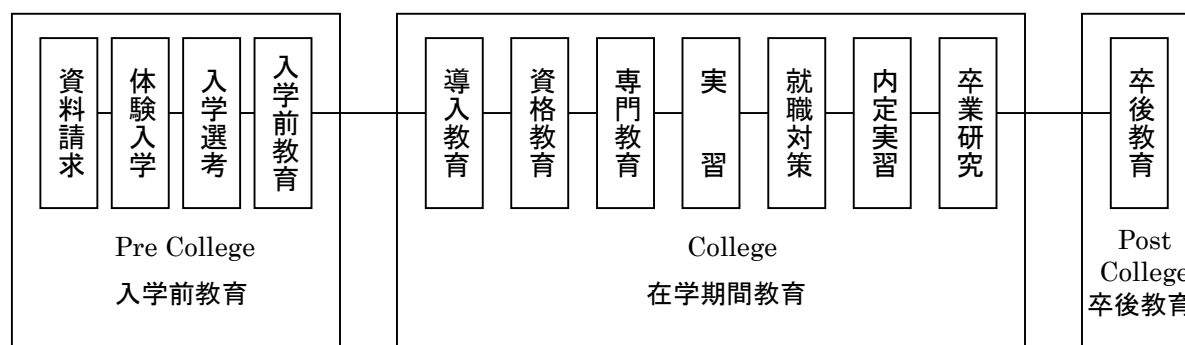
LT<sup>2</sup>教育システムをフローチャート化すると、下表のようになります。



LT<sup>2</sup>教育システムは、完成したシステムというより、常に学生たちとともに成長していく柔軟で生き生きとした教育方法です。生き生きして、フレッシュで、前向きで、明るい（福祉・医療・保健）人を生みだすために、先生たちが学生とともに工夫し、作り上げていくシステムなのです。

## 〔２〕 ＰＣＰ教育システム

専門職業人になるための学習は一生続きます。そして、専門学校での教育は入学前に始まり、卒業後も続いていきます。そのような考えからこの一貫教育システムは作られています。



(自己発見)  
職業（将来・夢）の発見を支援する。

(自己変革)  
職業人に向けて、自己を変えていくよう導きまた援助する。

(自己実現)  
職業人として完成していくよう、さらなる能力の向上を支援する。